SIR CHRISTOPHER PISSARIDES

Winner of the 2010 Nobel Prize for Economics

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Economics
- Europe
- Finance

クリストファー・ピサリデス卿は、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスの経済学教授、キプロス大学のヨーロッパ研究教授、キプロス共和国国民経済評議会議長、そして香港科技大学のヘルムート＆アンナ・パオ・ソーメン大教授でもあります。彼はエセックス大学とロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）で教育を受け、キャリアの大半をLSEで過ごしました。彼はまた、ハーバード大学、プリンストン大学、バークレー校などの米国の大学でも長期間過ごしました。

クリストファー卿は、労働市場、マクロ経済政策、経済成長、構造変化の経済学を専門としています。彼は、摩擦を伴う市場の経済学における研究で、ノースウェスタン大学のデール・モーテンセンおよびマサチューセッツ工科大学のピーター・ダイアモンドと共同で、2010 年ノーベル経済学賞を受賞しました。それに先立つ2005年には、ヨーロッパの経済学者として初めて労働経済学分野でIZA賞を受賞し、共同研究者のデイル・モーテンセンと再びその賞を受賞した。彼は専門誌、雑誌、報道機関に幅広く執筆しており、彼の著書『失業均衡理論』は失業経済学の影響力のある参考文献であり、多くの言語に翻訳されています。同氏は、ユーロ圏や欧州統合の将来に関する問題についてマスコミで頻繁に引用されている。

彼は英国アカデミー、アテネのアカデミー、欧州アカデミア、その他いくつかの学協会のフェローに選出されており、米国経済協会の終身名誉会員でもあります。2011 年には欧州経済協会の会長を務めました。 2011 年にキプロス共和国最高の栄誉であるキプロス共和国大十字章を受賞しました。 2013年にナイト爵位を授与された。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988